

SWGを使用したUmbrella Chromebook Clientのファイルのトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

はじめに

このドキュメントでは、Secure Web Gateway(SWG)を使用したUmbrella Chromebook Client(UCCX)でのファイルのアップロードおよびダウンロードの失敗をトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Umbrella Chromebook Clientに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

SWG拡張機能の主な目的は、クライアントをUmbrellaに登録し、プロキシ設定とセットアッププロキシをChromebookにダウンロードして、オンラインの脅威から保護することです。

SWG Umbrella Chromebookクライアントによって設定されるプロキシは、ChromeOSレイヤにあります。

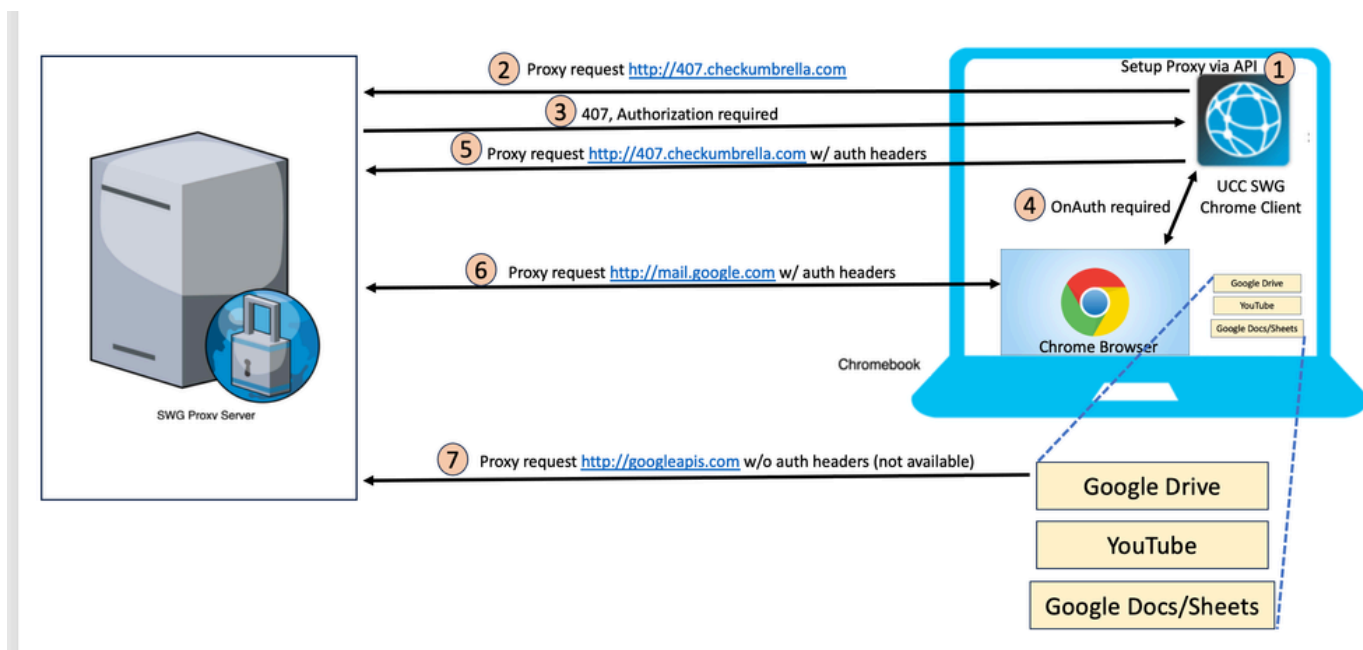
したがって、ChromeブラウザからのWebトラフィックと、デバイスにインストールされている

その他のアプリケーションは、Umbrellaにプロキシされます。また、SWGのUCCはプロキシ認証チャレンジを処理します。ただし、他のアプリケーション（Googleドライブなど）では認証のチャレンジを処理できません。

問題

Umbrella Chromebook Client(UCC)にセキュアWebゲートウェイ(SWG)を使用すると、GmailやGoogleドライブなどのアプリケーションのファイルのアップロードとダウンロードが失敗します。

1. たとえば、これはChromebookにインストールされているGoogleドライブからキャッシュされていないバージョンのファイルをアップロードしようとするシナリオです。
2. Googleドライブが「googleapis.com」を呼び出して、リモートサーバからファイルをダウンロードします。この要求はSWGプロキシサーバにプロキシされます。Google chromeブラウザでキャッシュされるauthヘッダーはGoogleドライブでは使用できないため、googleapis.com要求はauthヘッダーなしでSWGプロキシサーバに送信されます。この図のステップ1～5はGoogleドライブからは実行されなかったため、要求は拒否され、401「not authorized」エラー（図のステップ7としてマークされている）が表示されます。
3. Googleドライブからファイルをダウンロードできないため、GoogleドライブからGmailへのファイルのアップロードが失敗します。



18363932581524

解決方法

ファイルのアップロードの問題を解決するには、[外部ドメイン管理リスト](#)を使用して、ドメイン [googleapis.com](#)をバイパスします。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。